

対象年度	令和 3年度	総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名	広報活動事業						予算事業名	広報活動経費					
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令					
			02	01	03	1201	経常経費						
総合計画体系	5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営) 5-1市民・企業・行政がともに支えあう体制づくり(市民参加・広 ②広聴広報の推進 3広報活動の推進						事業の区分	主要事業					
							担当課係等	秘書課 シティプロモーション係					
	事業期間	継続 ( 年度～ 年度)											
	【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】 受け手側が、求める情報をわかりやすく伝達することにより、市政に対する理解と協力を得るとともに、広聴活動による民意の聴取と合せて、市民と対話のある広報活動をめざす。また、広報紙配布未世帯を解消することをめざす。						【事業開始のきっかけや他市の状況など】 市の行政情報を、適時に分かりやすく全市民に伝えるために、広報結城、お知らせ版を発行した。						
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】 ・広報媒体の編集発行(市勢要覧4年に1回、市報毎月1回、お知らせ版毎月2回) ・市ホームページの運用・管理 ・市公式フェイスブックの運用・管理 ・市公式ツイッターの運用・管理 ・結城ケーブルテレビの活用(広報番組・行政情報番組への出演・メール配信サービスなど) ・報道機関等への情報提供 ・広告掲載料収入の維持拡大						【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】 ・市民							
						【事業をとりまく環境の変化】 SNS(フェイスブックやツイッター)の利用が拡大している状況であり、従来の広報媒体である広報結城、お知らせ版の紙面での発行に加え、SNSをさらに活用し、総合的なコミュニケーション機能の強化を進める。							
【令和 3年度 事業内容】 ・市ホームページ、市SNSの運用・管理 ・結城ケーブルテレビの活用 ・報道機関等への情報提供 ・くらしのアプリ作成・運用 ・LINE公式アカウントの正式運用開始			【令和 4年度 事業内容】 ・市ホームページ、市SNSの運用・管理 ・結城ケーブルテレビの活用 ・報道機関等への情報提供 ・くらしのアプリ運用			【令和 5年度 事業内容】 ・市ホームページ、市SNSの運用・管理 ・結城ケーブルテレビの活用 ・報道機関等への情報提供 ・市勢要覧の作成 ・くらしのアプリ運用							
■事業費													
財 源 内 訳  歳 出  内 訳  備 考	R01年度			R02年度									
	国庫支出金	0			0								
	県支出金	0			0								
	地方債	0			0								
	その他の	0			0								
	一般財源	13,400			19,280								
	歳入計(千円)	13,400			19,280								
	節(番号+名称)	金額(千円)			金額(千円)								
	07報償費	43			33								
	10需用費	460			316								
11役務費	65			70									
12委託料	12,799			18,824									
13使用料及び賃借料	0			3									
18負担金補助及び交付金	33			34									
歳出計(千円)(A)	13,400			19,280									
伸び率(%)				43.88									
総合計画134ページ 予算書36ページ													

# 令和元年度行政評価シート

## ■指標

種類	指標名	単位	R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	広報紙配布率	%	目標 88.00	88.00	88.00
	市内全世帯に対する配布世帯のカバー率		実績 86.44	0.00	0.00
指標	広報紙発行回数	回	目標 24.00	24.00	24.00
	毎月1日・15日にお知らせ版を発行する。		実績 24.00	0.00	0.00
成果指標	ホームページアクセス数	件	目標 2400000.00	2500000.00	2500000.00
	パソコン版、スマホ版、携帯版の総アクセス数		実績 2481209.00	0.00	0.00
			目標 0.00	0.00	0.00
			実績 0.00	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市民に地元への関心を持ってもらい、積極的なまちづくりに関わってもらう。また、住んでいるまちへの郷土愛を育むためにも必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政にしか実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	いろいろな媒体（紙面、ホームページ、SNS、ケーブルテレビ）を使用することにより、より多くの市民へ市政情報を届けられる。
効率性	コストの効率性 ・人員効率	C 改善の余地はある	DTPソフト等を導入することにより、業者とのやり取りの効率性の向上が見込める。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	広報紙、ホームページ、SNS、ケーブルテレビを目的に応じ複合的に使用し、広く市民へ必要な情報を発信しており偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	情報の見せ方や市民が写っている写真などを多用し、紙面内容の充実を図ることにより、さらなる市民に求められる広報媒体を目指すことが出来る。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	SNSの内容充実、発信頻度の向上、新規アプリの導入などを行い、多様化が進んでいる。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

SNSでの情報発信の回数の増加、内容の向上など市政情報の提供活動の充実が図られてきている。  
今後ますます、インターネット環境での情報への要求スピード・情報の質への要望が高まることが見込まれるため、各広報媒体の見直しが必要となる。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

ホームページのリニューアルを行い、スマートフォン環境に慣れた世代にも見やすく、親しみやすいデザインを取り入れる。  
また、広報紙の記事・デザインなどもさらに見直し、市民に愛される媒体としていく。

## ■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開  
縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

方向性の具体的な内容

広報紙についてはユニバーサルデザインを意識し、より読みやすさを図るものとする。またホームページについても見やすさ・検索しやすさを意識した内容に更新する。また、各種SNSと連動し、より広く・より速い情報提供を心がけるものとする。

2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開  
縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）

上記評価のとおり。